

図書館だより

子どもは本好き

松江市公民館協議会会長

田 部 保 富

わたしが勤めている公民館の真向いが保育所で、よく出入りする。幼児だから遊び道具で遊んでいる時間が多いようだ。だが時に紙芝居をみたり、先生を囲んで輪になって絵本を読んでもらっている時もある。

先生にきくと「絵本を見ること、読んでもらうことは、年齢により子どもによって違いはあるが、概ねどの子も好きだ。」ということだった。そして幼児なりに好みの本があつて、それを何回も繰り返し見せたり読んだりしても厭きないとのことだった。

この話を聞いて思い出すことがある。それはわたしが小学校に勤めているころ、子どもが歩きながら本を読み下校する姿であつた。その本は教科書ではない。学校で借りた図書か、友だちとの貸し借りによる本であつたろう。また休憩時間や放課後に図書室に出入りする子どもの様子は「本離れし

ている子ども」といった声には合致していない姿であつた。

それぞれの年代によって、本への近づき方はいろいろあろうが、子どものころの本との出会いは、人間としての本性とかわりがあるような気がしてならない。

読書の楽しみ、その必要性を否定する人はまずいないと思う。また読書のための諸条件は、地域差はあつても戦前とは比較にならないほど整っている。

しかし子どもに対して、親が玩具を与える、そのことと本に親しませる努力と比べると雲泥の差がありはしないか。家庭でもそうであるが、幼児、児童の教育機関でももつともつと子どもが本に親しめるよう、手をさしのべてほしい。今のままでは子どもの読書の楽しみを、大人が奪っているように思われてならない。

敦煌の旅 (4) シルク・ロード

鳴沙山と月牙泉

鳴沙山（めいしゃざん）は敦煌の南郊8㎞、小石混りのゴビとは違い、黄な粉が積もったような砂山が続く。海拔1,650㍎というけど、敦煌地区全体が高地だからほんの50㍎ばかり、ぜひ頂上へと試みるがやはり歳だ。そこで入口で待機するラクダに乗ったものの、男の二人乗りではさまにならない。ところが、山腹のくぼみに泉が湧き、文字通り、三日月の形をした月牙泉（げつがせん）がある。古来、水が枯れることなく、神通力を持った仙人が住むといい、そのほとりに道観（道教寺院）がある。道教は中国固有の多神教的な民間信仰だ。無為（むい）・自然を旨とする老子・莊子哲学の流れを汲む。これに神仙思想を加えて不老長生術を説き、後には仏教の教理も採り入れる。恐らく、鳴沙山に辿り着いた旅人たちが飲む泉は生命（いのち）の水、強風に鳴る砂の音を天女のかなでる弦楽と心得、まさに不老長生の仙郷に遊ぶ想いがしたであ

ろう。だから、同じ鳴沙山の東崖に、仏教の一大聖地・莫高窟（ばくこうくつ）を、一千年間も掘り続けてこられたのではなかろうか。

莫高窟

さわやかな朝を迎えた。心をはずませながら仏教美術の大画廊・莫高窟へバスでまっしぐら。ゴビを進むこと約20分、大泉河沿いに伸びる緑のオアシスに出会う。ポプラ並木の向い側、そこまで続く鳴沙山の山腹にあたかも蜂の巣を並べたように掘られた石窟群、それが名にし負う敦煌莫高窟だ。AD366年、楽尊（らくそん）という仏僧が崖下に立つと、三危山と鳴沙山が相對する所に金色の輝きを見、仏の存在を感じとる。そこで一窟を開いて修業したのが莫高窟の始まりだという。BC5世紀にインドで生まれた仏教は、アショカ王の入信でインド全土から国外へと拡まる。それが西域を経て中国に伝えられたのは1世紀の半ばごろ。シルク・ロードを通う商人や仏僧たちがこの地に至って安全を祈り、無事を

◀ 団体貸出のお知らせ ▶

—— 学級や職場に文庫をつくってみませんか ——

当館普及係では、幼稚園・保育園、学校、職場、家庭文庫などの団体、読書グループ等に、本の一括貸出をおこなっています。

一回の貸出は**100冊以内**で、期間は**3カ月以内**です。

ご利用いただける本は、当館一階の普及係に用意しております。

学級や公民館等で本が足りない時。家庭文庫をつくりたい方。ぜひご利用下さい。

◎連絡先 ☎0852-22-5729・30
（県立図書館普及係）

☎0855-23-6785
（西部読書普及センター）

★昨年度は県全体で192団体、のべ3万冊の利用がありました。

★県西部域の方は、浜田の西部読書普及センターの本が利用できます。





莫高窟全景

感謝し、石窟を掘ったのに始まったのであろう。

石窟数は次第に増え、4～14世紀にかけて一千窟以上になり、“千仏洞”とも呼ばれたが、今日残るのは492窟だけ。時代別窟数は、北涼7・北魏11・西魏7・北周12・隋79と唐232・

五代27・宋と西夏98・元9・時代不定10とは豪勢だ。全石窟内の塑像仏は2,200余体、壁画を横に並べると35㎞にもなり、いずれも極彩色というからは、まさに仏教美術・世界の大画廊の名に恥じないといえよう。

新人司書です よろしくおねがいします

夏休みに入ったせいか、小学生から大学生までの方の利用が多くなり、カウンター業務はじっとしている間がありません。貸出、返却だけでなく、資料の複写、検索、初めて利用される方の登録などの仕事があります。利用者の方にはお待たせすることもあり、申し訳なく思います。

カウンターの当番でない時には、雑誌や新聞に関する仕事をしています。2階のフロアには約200の雑誌がありますが、これらの書名、発行月日などをコンピュータに入力し、台帳に記入してから配架します。また、新聞の製本、寄贈雑誌の受入処理など多くの仕事があ

り、毎日が充実しています。

また、年に5回ある図書の選定会議にも出席します。私は産業についての図書を選定し、会議資料を作成しました。当然、上司や先輩の意見に耳を傾けながら選定しますが、自分の選んだ図書が書架に並ぶことを思うと責任の重さを感じます。

これからは、図書館司書として、毎日の仕事を一生懸命頑張るとともに、図書に対するセンスを磨いていきたいと思います。利用者の皆様にも、アドバイス等頂きたいと思いますので、よろしくお願いします。

橋本 浩

利用案内

- 休館日 毎週月曜日・国民の祝日
毎月末日(月末が日曜日にあたるときはその前日)
年末年始 12月28日～1月4日
- 貸出し 冊数…5冊以内
期間…15日

- 開館時間 9時～18時
子ども室は火曜日～土曜日は13時～18時
ただし、小・中学校の週5日制導入に伴い、第二土曜日は午前9時から開きます。

島根県立図書館 〒690 松江市内中原町52
TEL (0852) 22-5734
FAX (0852) 22-5728

行事予定

8月



1 日	2 月 休館日	3 火	4 水 子供のつとめ 七夕会 14:00～15:30	5 木	6 金	7 土 古文書を読む会 (近世) 14:00～16:00
8	9 休館日	10 成人読書会 13:00～15:00	11 親子で絵本を 読む会 15:00～16:00	12	13	14 子供読書会 10:00～11:30
15	16 休館日	17	18 親子で絵本を 読む会 15:00～16:00	19 万葉集を読む会 14:00～16:00	20 出雲国風土記 を読む会 13:00～15:00	21 古文書を読む会 (中世) 13:30～15:30
22 29	23 休館日 30	24 休館日 31	25 親子で絵本を 読む会 15:00～16:00	26	27	28

◎館内資料展示…「身のももだつ話」

9月



			1 水 親子で絵本を 読む会 15:00～16:00	2 木	3 金	4 土 古文書を読む会 (近世) 14:00～16:00
5 日	6 月 休館日	7 火	8 親子で絵本を 読む会 15:00～16:00	9 万葉集を読む会 14:00～16:00	10 出雲国風土記 を読む会 13:00～15:00	11 子供読書会 10:00～11:30
12	13 休館日	14 成人読書会 13:00～15:00	15 休館日 (敬老の日)	16	17	18 古文書を読む会 (中世) 13:30～15:30
19	20 休館日	21	22 親子で絵本を 読む会 15:00～16:00	23 休館日 (秋分の日)	24	25
26	27 休館日	28	29 親子で絵本を 読む会 15:00～16:00	30 休館日		



◎館内資料展示…「国際少数民族年によせて」

※各種講座は講師の方の都合により変更する場合があります。

編集発行 島根県立図書館 松江市内中原町52 TEL 0852-22-5725

発行日 平成5年7月31日

FAX 0852-22-5728